

2021年12月28日
日本製薬株式会社

日本製薬の製造する一部製品の富士製薬工業株式会社への
販売移管及び製造販売承認の承継について

日本製薬株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:谷垣任優)は、本日、サルプレップ®配合内用液、ミンクリア®内用散布液0.8%、フォリアミン®(注射液、錠剤、散剤100mg/g)、オスバン®消毒液(10%、0.025%、0.05%、0.1%、オスバンラビング®)(以下、「本譲渡対象製品」)について、富士製薬工業株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岩井孝之、以下、「富士製薬工業」)に販売を移管するとともに、日本における製造販売承認およびこれに関連する資産を譲渡することを決定し(以下、「本資産譲渡」)、富士製薬工業との資産譲渡契約を締結しましたのでお知らせいたします。

本年4月1日の武田薬品工業株式会社(以下、「武田薬品」)による当社の完全子会社化を受け、当社と武田薬品は事業統合を見据えたより強固な連携体制構築に向け、協議を続けています。血漿分画製剤事業は武田薬品の主要ビジネスエリアの1つであり、武田薬品の子会社として日本において血漿分画製剤事業を担う当社は、本資産譲渡により一層、血漿分画製剤事業に注力し、最先端のイノベーションを追求していくとともに、専門性を更に強化することで引き続き革新的な医薬品を患者さんにお届けしてまいります。

本譲渡対象製品は、今後も多くの患者さんのニーズを満たす重要な役割を担うものの、当社の主力領域である血漿分画製剤には該当しておりません。富士製薬工業は、本譲渡対象製品の価値を最大化するための戦略的な投資を通じ、必要な薬剤を確実に患者さんにお届けすることを可能にする最適なパートナーです。本資産譲渡の実行は2022年2月末を予定しておりますが、本譲渡対象製品の製造販売承認は当面の間、日本製薬が引き続き保有し、承継時期については今後検討し決定してまいります。なお、今回の譲渡において、人員の移管は伴いません。

以上

< 本件に関するお問い合わせ先 >

日本製薬株式会社 総務・人事部 TEL:03-5148-7570

本資産譲渡の相手先の概要

| | | | |
|------|------------|---|------------|
| (1) | 名称 | 富士製薬工業株式会社 | |
| (2) | 所在地 | 〒102-0075 東京都千代田区三番町5番地7 精糖会館 6F | |
| (3) | 代表者の役職・氏名 | 代表取締役会長 今井 博文 代表取締役社長 岩井 孝之 | |
| (4) | 事業内容 | 医療用医薬品の開発・製造・販売(注射剤、内用剤、外用剤、診断薬) | |
| (5) | 資本金 | 3,799 百万円 (2021 年 9 月 30 日時点) | |
| (6) | 設立年月日 | 1965 年 4 月 | |
| (7) | 純資産 | 32,681 百万円 (2021 年 9 月 30 日時点) | |
| (8) | 総資産 | 64,239 百万円 (2021 年 9 月 30 日時点) | |
| (9) | 大株主及び持株比率 | 有限会社 FJP | 17.81% |
| | | 今井博文 | 16.66% |
| | | 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 8.39% |
| | | 新井規子 | 5.10% |
| | | Lotus Japan Holdings 合同会社 | 5.01% |
| | | 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 3.92% |
| | | 今井道子 | 3.48% |
| | | BBH FOR FIDELITY LOWPRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) | 2.60% |
| | | 株式会社日本カストディ銀行(信託口 9) | 2.29% |
| | | 富士製薬工業 従業員持株会 | 1.28% |
| (10) | 当社と当該会社の関係 | 資本関係 | 当該事項はありません |
| | | 人的関係 | 当該事項はありません |
| | | 取引関係 | 当該事項はありません |
| | | 関連当事者への該当状況 | 当該事項はありません |